

港区東海学区

震災避難行動マップ

わが家の津波避難先

- ① _____
- ② _____

各家庭で津波避難先を書き込みましょう

避難情報	警戒レベル	とるべき行動(市からの伝達内容)
災害発生情報	5	命を守る最善の行動をとってください。
避難指示(緊急)	4	緊急に避難を完了してください。避難場所への避難に限らず、近くの安全な場所や屋内の高いところに避難してください。
避難勧告	4	速やかに全員避難してください。避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所や屋内の高いところに避難してください。
避難準備・高齢者等避難開始	3	お年寄りの方など避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。それ以外の方については、気象情報を注視し、避難の準備をしてください。

気象台が発表する早期注意情報が警戒レベル1、注意報が警戒レベル2となります。

凡 例

	指定緊急避難場所(津波避難ビル)		指定避難所
	広域避難場所		地域防災協力事業所
	地下式給水栓		街頭消火器
	雨水貯留施設		下水道直結式仮設トイレ(マンホールトイレ)
	コンビニエンスストア		AED
	公衆電話		

地域防災協力事業所

①	ホームセンターコーナン南十番町店 (住所)南十番町1-1-2 (内容)一時避難場所(駐車場の一部)
②	立石海苔店 (住所)九番町5-19-3 (内容)厚手の段ボールの提供等



大津波や高潮の危険が迫っているときには、大切な命を確実に守るため、お住まいの3階以上へ避難をしましょう！

避難生活 指定避難所

災害が落ち着いた後、自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るための施設(公立小・中・一部の高校の体育館・コミュニティセンターなど)

施設名称	住所
東海小学校	九番町1-1-3
東海コミュニティセンター	南十番町1-3

津波避難ビル

施設名称	住所
東海小学校(東校舎棟・西校舎棟)	九番町1-1-3
中駒九番団地1、2、4~7棟	九番町1-1-1 (7棟は七番町2-11-1)



地震発生！災害時の対応

港区東海学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。自分の身を確実に守るため、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。名古屋港には最短96分(※)で津波が到達し、その後最大3.6mの津波がさかのぼります。津波が見えてからでは避難が間に合わないため、限られた時間を有効に使って津波避難ビルへ避難しましょう。

液状化現象も起きる可能性も高く、建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出したりして通れなくなる恐れがあります。これらを踏まえ、適切な避難先、そこまで安全にたどり着くための経路を日頃から考えておきましょう。

(※)30cmの津波が到達する時間。30cmの津波でも、人は早い流れに巻き込まれて流される可能性があります

●身の安全の確保

- ・倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- ・机の下に隠れて、机の脚を持ち低い姿勢で身を守る
- ・安全に消せる場合は、火を消す
- ・可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- ・屋外にいる場合は、建物やブロック塀など、倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



避難の際は、近隣で助けを求められないか、大きな声で確認しながら避難しましょう！

- 家族、隣近所への声かけ、安全・安否の確認、情報交換
- 家屋、近所の被害状況、危険度の確認
- 火元を消す、ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集

火災などの危険がない場合、3階以上にお住まいの方は、一人で避難できない方を助けたら「在宅避難」を！避難してくる近所の住民を快く迎えましょう

同じ階の住民の無事を確認できたら、上階・下階の住民の方が無事かどうかの確認、避難支援を！

津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。地震の揺れがおさまったあとは、地域の皆さんで声かけをし、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。また、日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。

情報の入手や判断が難しい方
(例えばこんな方) 目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)

優しい言葉でゆっくり声かけ

メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方
(例えばこんな方) 盲杖、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)

複数で手伝う

身近にあるものを利用する

<一戸建てにお住まいの方>

- ① 町内の組単位で「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「大きな声で」声かけを繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

<集合住宅にお住まいの方>

- ① お住まいの階ごとに「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「大きな声で」声かけを繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、住宅の3階以上へ津波避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

津波避難ビルを 目指して 避難開始

- 逃げ遅れないように早めの避難開始
- 隣近所へ大きな声で声かけしながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ避難
- 持てる量の非常持出袋を持って避難
- 落下物など周囲の危険に気をつけて避難

津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

- 在宅避難
- ✗ 避難所等*へ

*避難所は東海学区災害対策委員、市職員、または施設管理者が施設の安全確認をした上で開設する。

地震発生

揺れがおさまった

津波から安全に避難するための5つのポイント

- ①揺れが収まったら高台へ。時間がなければ津波避難ビルへ避難！
- ②隣近所へ声をかけ、原則、徒歩で避難！
- ③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！
- ④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！
- ⑤海岸や河川には絶対近づかない！

